

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)株式会社野間製作所 第3工場 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル						
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能						
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音						
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温						
2 外皮性能						
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御						
2.3 空調方式						
3 光・視環境						
3.1 昼光利用						
1 昼光率						
2 方位別開口						
3 昼光利用設備						
3.2 グレア対策						
1 昼光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御						
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質						
4.2 換気						
1 換気量						
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮						
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能			0.44			2.9
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画						
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)、冷水VP(B)、排水VP(B)、Eは不使用。	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		2.6	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			

3	対応性・更新性		2.9	0.50	-	2.9
	3.1 空間のゆとり		2.8	0.30	-	-
	1 階高のゆとり		2.0	0.60	-	-
	2 空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3 ✓	4.0	0.40	-	-
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.56	-	2.7
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	-	3.0	0.30	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	4.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m = 0.71 ✓	5.0	0.20	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m = 0.62 ✓	4.8	0.50	-	4.8
4	効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-
	集合住宅の評価		-	-	-	-
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	2.9
1	水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
	1.1 節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアを使用している。✓	4.0	0.22	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.20	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70	-	-
	1 消火剤	-	2.0	0.33	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。✓	5.0	0.33	-	-
	3 冷媒	-	3.0	0.33	-	-
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率66% ✓	4.0	0.33	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。✓	5.0	0.25	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25	-	-
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-
	3 交通負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-
3	周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-
	2 振動	-	-	-	-	-
	3 悪臭	-	-	-	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-
	3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	1.0	0.70	-	-
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)株式会社野間製作所 第3工場 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	2.0	-	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0	-	-	3.0	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	-	3.0	3.0	1.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明のつち外に漏れる光への対策	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSG 0.5 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム 4.0 屋根 2.0 外壁 2.0 床 2.0															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -															
3.1.1 昼光率															
昼光率 0.0%															
4.2.2 自然換気性能															
自然換気有効開口面積率 0.0%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
執務スペース .0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡															
コンセント容量 30.0 VA/㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
1.2.1 広さ感・景観															
天井高 2.5 m															
1.2.2 リフレッシュスペース															
リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%															
2.2.1 躯体材料の耐用年数															
想定耐用年数 0 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
3.1.1 階高のゆとり															
階高 3.45 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
壁長さ比率 12.0%															
3.2 荷重のゆとり															
床荷重 - N/㎡															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
BPI/BPI _m 0.71 断熱性能等級 対象外 相当															
2 自然エネルギー利用															
自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡															
採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%															
通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%															
3 設備システムの高効率化															
BPI/BPI _m 非住宅 0.62 住宅 - 太陽光 10.0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
使用比率 0.0%															
3.2.1 消火剤															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.3 冷媒															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 31% 隣接間隔指標Rw 8.95															
地表面対策面積率 25.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!															
見付面積Sb 328㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 79.28 m 基準高さHb 13.32 m															
緑地 2,514㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															